

令和6年度 宮古恵風支援学校教職員働き方改革アクションプラン

○学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

【定量的現状】

- ◆月45時間超の時間外勤務職員
 - ・R5年度:延べ18人、R4年度:延べ45人、R3年度:延べ117人
- ◆年間360時間超の時間外勤務職員
 - ・R5年度:11人、R4年度:16人、R3年度:29人

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・計画的な定時退庁日の設定や計画的な業務の進め方を呼びかけることで、施錠時間(18:30)前の退庁意識が見られるようになった。
- 管理職のマネジメント
 - ・職員の業務遂行状況を常に把握し、着手可能なところから適宜業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 施錠時刻前の退庁を全職員が一人あたり月に4回以上実施する。
- 定時退庁日を計画的に設定し実施する(年間15回以上)。
- 学校評価における職員の「学校教育力の向上に繋がる業務の効率化、適正化」の満足度の割合90%以上。

【目指す姿】

- ・生徒が、学校に通うことが楽しいと感じることができる学校。
- ・教職員が、達成感、有用感を感じ、教育の楽しさを実感しながら各学部や分掌が連携してチームとして業務を推進する学校。
- ・教職員がメリハリをつけながら計画的に業務を推進し、自身の心身の健康を意識している健全(健康・安心・安全)な学校。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	・管理職が、定時退庁について、週始め及び週末に積極的に呼びかけを行います。 ・月の時間外在校等時間が2カ月連続で月45時間超となった教職員に対し、健康確保の観点から、面談等を実施します。
(2)	学校における業務改善の推進	・これまで改善に向けて取り組んできたことを踏まえ、引き続き学校行事等の見直しや会議の効率化等に取り組んでいきます。 ・現状の校内業務のスクラップ&ビルド等について随時検討し、より効果的な業務運営に努めます。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	・学校経営計画の推進に向け、管理職間の意思疎通を高め、明確な方向性を教職員に提示していきます。 ・主事・主任を中心に教職員間のチーム意識の向上を図り、一体感のある職場風土の醸成に努めます。
令和6年度重点取組事項		・組織としての取り組みの他に、教職員が個人的に実施している働き方改革の事例や様々なアイデアを共有するなどして、個の意識を高めながら一人一人の働き方改革の充実に努めます。

4 アクションプランの周知方法

- ・会議等を通じて教職員に周知するとともに、学校HPに掲載し、地域・保護者等に広く周知します。